

溶接・接合セミナー

欧米における構造物溶接の適用例

平成22年11月30日(火) 13:30 - 16:30

主催 : (財)溶接接合工学振興会 (財)国民工業振興会
共催 : 愛知産業(株)

鋼構造物の溶接・接合部は設計から製造及び品質管理まで、多くの技術の蓄積が重要となります。日本の鋼構造物の溶接・接合においても、優れた技術の導入や合理的な設計により多くの製造分野をリードしてきました。しかしながら近年の国際市場でのインフラ設備の競争において、納期短縮・コスト削減の実現は、最も重要な要素のひとつとなりました。インフラ設備である原子力設備やパイプラインの分野においても、高度新技術の導入やグローバル調達化は、国際競争力の鍵となります

本セミナーでは、溶接・接合設計において、欧州や米国における鋼構造物の情勢を踏まえながら、溶接材料や製造設備の最新技術や溶接施工法などの紹介を致します。

日時 : 平成22年11月30日(火) 13:30 - 16:30

場所 : 愛知産業株式会社 AS東大井ビル (4F講堂)

京浜急行 鮫洲駅下車 : 徒歩5分

JR京浜東北線 大井町駅下車 : 徒歩12分

会費 : 無料

定員 : 60名 (定員になり次第締め切らせて頂きます)

【講演】 [愛知産業(株) 4F講堂] 13:30 - 16:30

13:30 - 13:40 挨拶 愛知産業株式会社 取締役 金安力氏

13:40 - 14:50 欧米の原子力分野における製造技術の紹介
リンカンエレクトリック社(米国) THE LINCOLN ELECTRIC COMPANY Patrick Wahlen 氏

14:50 - 15:40 圧力容器の狭開先溶接技術と最新設備の紹介
エイメット社(米国) AMET Steve Kaiser 氏

15:40 - 16:30 パイプ製造におけるMAG溶接・サブマージアーク溶接の効率化技術
ウルハンシュビル社(独) Uhrhan-Schwill Schweißtechnik GMBH Ingo Schwill 氏